

放課後等デイサービス自己評価結果(公表)

公表: 令和6年2月19日

事業所名 すまいる. れいんぼー. ぶりっじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守したスペースを確保しています。活動内容によりブース使用や分ける工夫をし環境整備に取り組んでおります。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		入り口のみ段差が有りますが玄関と室内の区別を付ける目印になっております。必要に応じてバリアフリー化を検討します。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		全職員間で意識を向ける様に会議を実施しております
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		保護者様へ満足度調査アンケートを実施し、業務改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		HPIにて公開しております。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	利用者・社内の2者評価をとっております。第三者による外部評価については現在、実施の予定はありませんが、今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		すべての指導員に継続的に研修を行っております。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		計画期間ごとにアセスメントを取った上で計画を作成しています。又、統一したアセスメントシートを使用しております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		スタッフ一同でお子様の事例を共有、議論し合いケース検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		一人ひとりの特性や気持ち・興味に合わせ、楽しく学べる指導を行う。次の学びにつながる成功体験を重視し、自発的に適切な行動をとれるようにお子様に学びやすい指導環境をつくります。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇の時は時間を有意義に特別な課題を体験成功に結び付け(社会性、生活、コミュニケーション等)楽しい時間を過ごせる様に計画をしております。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		アセスメントを元に、優先順位をつけ長期目標と短期目標を設定し、通所計画を策定しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		個別支援経過票に『きづき』欄を追加。随時、職員間での情報共有を行っております。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎回指導記録を取り、見直す事でお子様の成長や取り巻く環境の変化に合わせ、指導内容や方法を更新しております。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		アセスメントを元に、優先順位をつけて長期目標と短期目標を設定した、通所計画を策定しております。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		児童の状況に応じ、ガイドラインに沿って計画している
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当制はとっておりませんが、管理責任者を含む全てのスタッフがお子様の状態を把握し、チームでの支援を展開しております。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者様を通じて学校の情報共有しております。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		現在、医療職スタッフがいない為、医療的ケアが必要なお子様の受け入れに際しては、主治医等のご意見を確認した上で、慎重に判断しております。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		現在、対象のお子様はおりませんが、地域の事業所との連携や情報を集め、必要に応じて情報交換、提供が出来る体勢を整えております。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		近隣区の事業所等と連携し、助言や研修会に参加させて頂いております。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○		地域交流については、限られた指導時間内で実施が難しい事から、実施する事はしておりません。個々のお子様の状態に応じて、必要があれば支援計画に位置づけた上で実施致します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		住之江区、住吉区の児童発達支援、放課後等デイサービスに係る事業所の連絡会に参加し情報交換をしております。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		必要に応じて保護者様へフィードバックの時間を設けています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		必要に応じて助言や支援を行っております。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要事項説明書を掲示。支援内容は通所計画を提示し面談時に説明します。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		主にモニタリング時に相談に応じております。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		懇親会等を実施しております
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		お問い合わせ窓口電話を設置しております。頂いた苦情に対しては、社内フォローを定め、迅速、かつ適切に対応させて頂きます。

非常時等の対応	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	ホームページでイベントのご案内等を掲示しています。今後は見やすい活動報告を意識し取り組んでゆきたいです。
	35	個人情報に十分注意しているか	○	個人情報書類は鍵付きキャビネットに保管。個人情報管理端末はパスワードを設定し、適切な対応を行っております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	お子様、保護者様の状態に応じて視覚的情報等活用、意思疎通・情報伝達等を実施。必要に応じて合理的配慮の推進をしております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	定期的に地域の方々にも参加して頂けるイベントを告知し開催しております。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○	各種マニュアルを策定し、事業内に常置し。研修を実施していく様に検討しております。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	定期的に避難訓練を実施しています。 災害ダイヤル171の使い方も練習しております。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○	マニュアルを策定し、研修を実施しています。保護者様へは、契約時に丁寧に説明し、必要時には通所計画の特記事項に記載します。	
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	全てのお子様のアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないように留意し、保護者と連携しております。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	事例が起こった際には、ヒヤリハットの報告書を作成、保管し、職員間で共有し迅速に改善に取り組んでおります。	